

6 21~22 花しょうぶまつり開催

青山花しょうぶ園（下青山）で花しょうぶまつりが開催されました。

このイベントは、城里町花しょうぶ保存会と町社会福祉協議会などが企画し、花ショウブが見ごろとなる6月の中～下旬に毎年行われています。



初日は時折小雨の降る天候でしたが、花を觀賞する人や苗を買い求める人でにぎわい、会場に設けられたステージではバンド演奏やフラダンスなどが披露されました。



7 4 もっと知りたい水道のこと

石塚小学校の4年生90名が社会科学習の一環として、石塚浄水場を見学を訪れました。

児童は、水道課職員に説明を受けながら各施設を見学。クイズや模型を使った実験を交えながら浄水の仕組みを学びました。

また、災害等に備えて給水車の役割や機能を学び、非常用の貯水袋を使用して学校まで水を運ぶ体験をしました。

児童からは、「1日にどのくらいの水をつくるのですか?」「大変なことは何ですか?」など、たくさんの質問が寄せられ、水道課の職員が1つひとつその疑問に答えていました。

模型を使ったり過実験の様子。泥水が透明な水に変わる様子を観察しました。▶



まちのわだい

MY TOWN NEWS

7 3 ホルルの湯の入館者が300万人を突破しました

開館11年目を迎えたホルルの湯の入館者数のがのべ300万人を突破しました。

記念すべき300万人目の入館者となったのは、水戸市からお越しの鬼澤忠夫さんでした。

鬼澤さんは、週3回のペースでホルルの湯を訪れ、プールでのウォーキングやお風呂を楽しんでいるそうです。

300万人達成イベントでは、同施設の指定管理者である町開発公社理事長（阿久津藤男町長）から鬼澤さんと前後の来館者となった森百合子さん（福島県南相馬市）、平原誠一郎さん（城里町上坪）に記念品が贈られました。

▶鬼澤忠夫さん(写真中央、森百合子さん(写真左から2人目)、平原誠一郎さん(写真右から2人目))



6 19 みんな一緒に楽しいね!

城里町更生保護女性会では、心豊かな子どもを育て、犯罪の無い社会を実現しようと、なかなか保育所において「音楽リズムあそび」を行いました。

心理カウンセラーの武藤幸枝さん指導のもと、更生保護女性会の会員8名と3～5歳児19名が掛け声や音楽にあわせて体を動かし、ふれあうことで、人と交流することの楽しさ、大切さを体験しました。



▲手作りの腰みのをつけ、「南の島のカメハメハ大王」の曲に合わせて楽しく踊りました。

7 2 7月 2日 7月 2日 どんな願い事を書いたのかな? ～愛育会七夕まつり～

母子愛育会が主催する七夕まつりが常北保健福祉センターで行われ、就学前の在家庭の幼児と保護者約70人が参加しました。

親子で作ったカラフルな笹飾りや、願い事を書いた短冊を笹に飾りつけ、きれいな七夕飾りをつくりました。

飾り付けの後は、愛育会の会員による人形劇を見たり、七夕の歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしました。



鶏足山登山口に駐車場を整備

七会地区にある鶏足山には、四季を通じて県内外から登山を楽しむ観光客が訪れています。

近年、登山者が増加していることから、町では登山者の利便性を図るため、登山口にトイレ完備の駐車場を整備しました。



7 6 7月 6日 大きないけすで 川魚のつかみどりを体験



関東地方では例年より早い梅雨明け宣言が出され、城里町においても猛暑日となったこの日、「道の駅かつら」東側の那珂川河川敷において、川魚つかみどり大会（同実行委員会主催）が行われました。

那珂川の河川敷に作られたいけすには、ニジマスをはじめとする5種類、およそ1トンの川魚が放流され、町内外から訪れた家族連れ約1,200人が魚のつかみどりを楽しみました。



城里町花いっぱい運動コンクール審査結果

7月9日(火)に「城里町花いっぱい運動コンクール」の審査が行われました。

今年は37団体の参加申し込みがありました。どの団体も日頃の努力や工夫がみられ、花壇にはさまざまな花が色よく咲いていました。各部門（地域の部、学校の部）の審査結果は次のとおりです。

なお、今回の審査で最優秀賞に輝いた錫高野生産クラブと常北小学校が、城里町の代表として第41回花と緑の環境美化コンクール（大好きいばらき県民会議主催）に推薦されました。

地域の部

最優秀賞 錫高野生産クラブ
優秀賞 下坏三代交流団体
" 上坏フラワーボランティアの会
" 下古内三区



▲最優秀賞 錫高野生産クラブ

学校の部

最優秀賞 常北小学校
優秀賞 石塚小学校
" 七会小学校



▲最優秀賞 常北小学校